



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

カタール・アフガニスタン：ターリバーン政治事務所開設（18日付アルジャジーラ衛星放送）

6月18日午後5時過ぎ、アルジャジーラ衛星放送は、ドーハにおけるターリバーン政治事務所（注：記者会見場では、「Political Office of the Islamic Emirate of Afghanistan」と表記）開設発表に関する記者会見を実況で報じた。

1. カタール外務省より、アリー・ファハド・ハージリー政務担当次官が出席した。ターリバーン側より、2人の代表（タイエブ・アーガーと見られる人物およびムハンマド・ナイーム在カタール・ターリバーン政治事務所報道官）が出席した。
2. 冒頭、ハージリー外務次官は、概要以下の通り述べた。
  - (1) カタールは、世界平和を支援するという意思および平和的手段と対話と交渉を通じて紛争を解決すべきとの信念から、ターリバーンの政治事務所 [注：マクタブ・シヤーシー・リ・ハラカト・ターリバーン (political office of Taliban Movement)] を開設することに合意した。
  - (2) カタールは、ターリバーン政治事務所の活動が、軍事的なものに向かうのではなく、アフガニスタンにおける政治プロセスの前進に貢献することを確信している。
  - (3) このターリバーン政治事務所は、カタール国内法および国際法に反するいかなる活動も行うことはない。
  - (4) カタールは、アフガニスタン問題の平和的解決のために、いかなる努力も行う意思である。
3. 続いて、ターリバーン側より、在カタール・ターリバーン政治事務所のムハンマド・ナイーム報道官（注：肩書きはアルジャジーラ衛星放送による表記）およびタイエブ・アーガーと見られる人物が、「カタールにおける政治事務所開設は、世界各国との関係構築、紛争の政治的解決と公正な政府の設立、アフガニスタン勢力との関係構築、各国のメディアでの連絡が主な目的である」と述べた。